

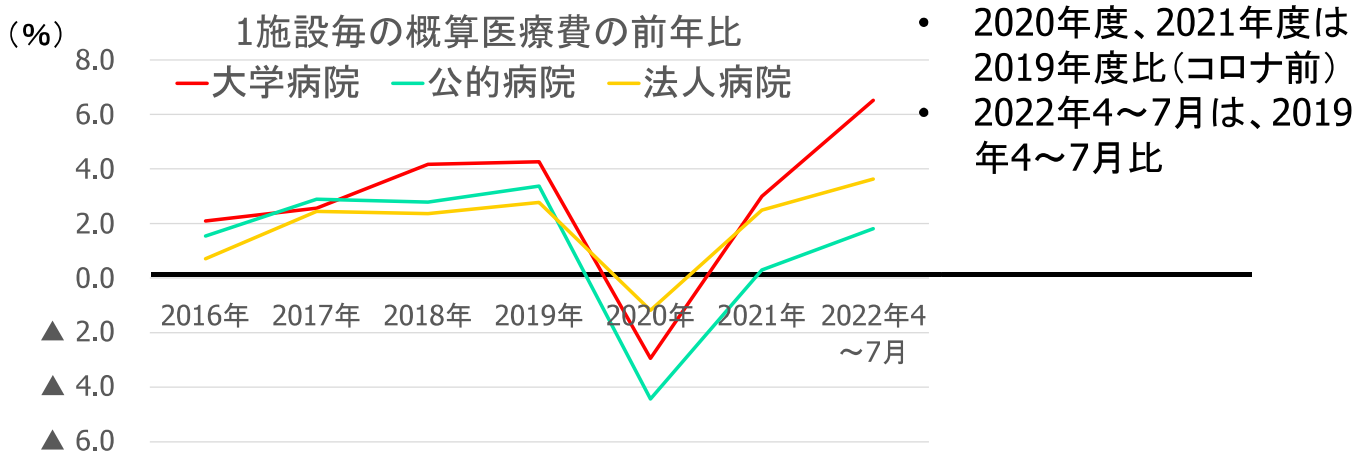


医育機関に何ができるか？

公立大学法人横浜市立大学副理事長
附属病院長・麻酔科学教授
後藤 隆久



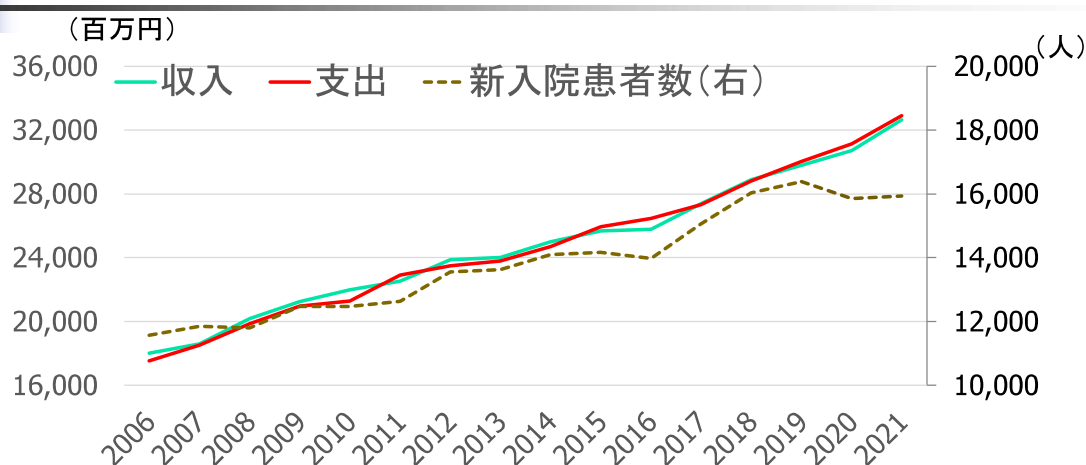
病院収益の伸びは、2019年以前の水準に戻っていない？



厚生労働省 最近の医療費の動向—MEDIAS

https://www.mhlw.go.jp/bunya/iryuhoken/database/zenpan/iryuu_doukou_b.html

横浜市立大学附属病院でも、コロナ後、新入院患者数が伸び悩んでいる

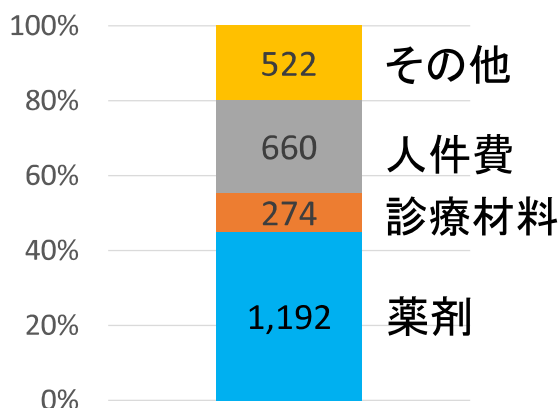


<https://www.yokohama-cu.ac.jp/fukuhp/outline/subject.html>

収入は運営交付金含む
2020～21年度の収入はコロナ補助金を除く

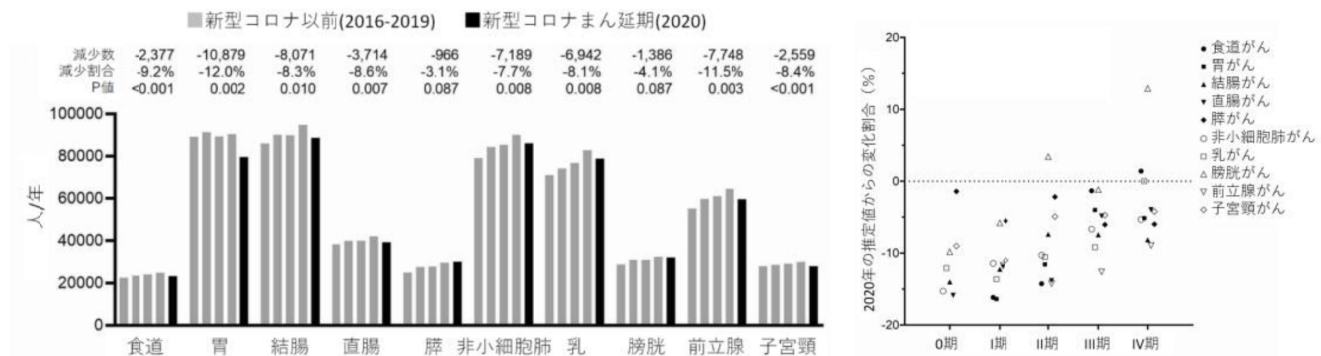
2019年→2021年で付加価値をほとんど増やしていない

2019年度→2021年度の診療収益増(2,650百万円)に占める各支出項目の割合(百万円)



- 収益増のほぼ半分を薬剤費の増加が占めている。
- 薬剤費、診療材料費、人件費の増加を差し引くと、ほとんど残らない。

コロナによる診療抑制で、がん(特に早期がん)の診断数と切除数が減った



国立がん研究センターがん情報サービス「院内がん登録全国集計」を解析

<https://jhcr-cs.ganjoho.jp/hbcrtables/>

European Journal of Cancer

DOI: <https://doi.org/10.1016/j.ejca.2022.01.027>

ポスト(ウィズ)コロナの病院経営課題

- 急性期病院は自院の戦略的ポジショニングの再考が求められる
 - 患者数がコロナ前からの延長線上より少ない
 - しかし、人件費をはじめとする費用は順調に伸びている
 - 高額な医薬品や診療材料等を用いる診療の割合が高まった→病院に残る利益が減った
- 受診や健診の抑制により、進行がんなどが増えている可能性→適切な受診を促すための発信

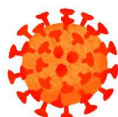
パンデミックや災害に強い人材育成

文部科学省補助事業
ウィズコロナ時代の新たな医療に対応
できる医療人材養成事業

感
染
対
策



VR教材1 針刺し事例



VR (Virtual Reality) 教材の開発

2022年度内に学生・研修医
教育に導入



即戦力となり得る高度な医療人材を地域に輩出

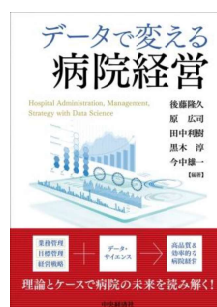


救
急

VR教材2 BLS

多施設、多職種で学びあう場の提供 —病院経営プログラム(履修証明コース)

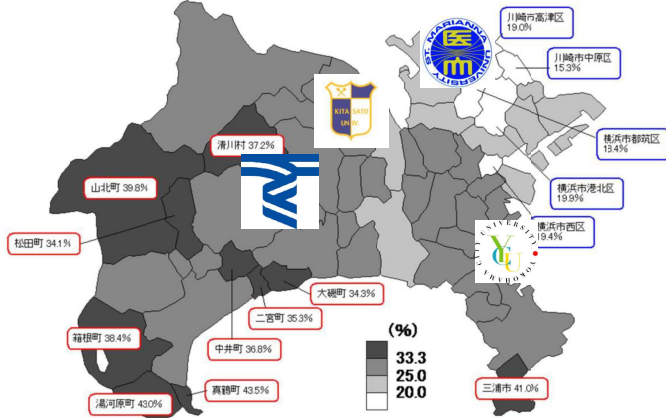
- 医療、介護、政策立案者などが一堂に会して学習、議論
- 自らの現場の課題を1年かけて研究、成果発表
- 修了者は今年度末までで計96名(予定)→同窓会活動も
- 来年度履修予定者27名
- 教科書も出しました！ →



医師の働き方改革(1)

—神奈川県4大学での取り組み

神奈川県市町村別 65歳以上人口の割合
(令和2年度)



https://www.pref.kanagawa.jp/documents/82633/03_r2_shikutyouson.pdf

- 医師派遣の現状についてデータで把握、4大学で共有
- ある大学がある病院・診療科への派遣が厳しくなった時、他大学でカバーできないか、話し合うための土壌づくり

医師の働き方改革(2)

—A水準に収めることがすべてなのか？

- 勤務時間短縮だけでは人はつなぎ留められない？
 - 成長が感じられる職場
 - パワハラではないが、厳しいことを言ってもらえる職場
 - 収入が減らない配慮

結語

- 病院の医療費の伸びはコロナ前の水準に戻っていない。
- 医育機関(や地域中核病院)は、地域の多施設への学習の機会提供や人材派遣により、包括的な医療・介護体制作りに貢献できるのではないか。
- 医師の働き方改革は、医師の労働時間上限規制に留まらない意義がある。

ご清聴ありがとうございました



プロフィール

後藤 隆久

【現職】 公立大学法人横浜市立大学 副理事長
横浜市立大学附属病院 病院長
横浜市立大学医学部 麻酔科学 教授

【略歴】

1987年 東京大学医学部卒業
同年 帝京大学市原病院麻酔科
1988年 マサチューセッツ総合病院麻酔科レジデント
1993年 帝京大学医学部附属市原病院麻酔科
2002年 帝京大学医学部附属病院麻酔科
2006年 横浜市立大学大学院医学研究科 麻酔科学 教授
2016年 横浜市立大学附属市民総合医療センター 病院長 兼務
2020年 横浜市立大学附属病院長 兼務～現在まで
2022年 公立大学法人横浜市立大学 副理事長 兼務～現在まで

【その他】

2005年9月～12月および2017年9月～12月、2018年4月～12月
慶應義塾大学大学院経営管理研究科 科目等履修生（田中滋教授指導）
2021年4月～ 東京大学大学院教育学研究科 大学経営・政策コース 修士課程

【最近の研究テーマ】

1. 麻酔および集中治療における遠隔医療
2. 麻酔科看護師養成のための教育カリキュラム
3. 地方自治体は何故公立大学を設置し、維持するのか？

【趣味】

ビールを飲むこと
ワインも大好きですが、知識が全く頭には入りません。